

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大分県立農業大学校
設置者名	大分県

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
農学部	総合農産科	夜・通信	108 単位	6 単位	
	総合畜産科	夜・通信	93 単位	6 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「講義計画(シラバス)」に一覧表を記載し、学生に配布する。また本校ホームページ <https://www.pref.oita.jp/site/140/> から閲覧・ダウンロードも可能。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	大分県立農業大学校
設置者名	大分県

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	農業大学校 外部評価委員会
役割	<p>審議事項： 農大校長は、学校運営の改善を図るため毎年度重点目標を定め、その達成に必要な評価項目などを設定し、運営状況等についての自己評価を行う。外部評価委員会は、その自己評価の結果を踏まえた評価を行う。</p> <p>意見の活用： 農大校長は、委員会からの報告をもとに必要な措置を講ずる。</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
大分県指導農業士会会長	R5. 4. 1～R7. 3. 31	生産者
大分県農業法人協会会長	R5. 4. 1～R7. 3. 31	生産者
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大分県立農業大学校
設置者名	大分県

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>講義計画(シラバス)の作成と学生への配布(印刷物)、シラバスのホームページでの公開を原則とする。</p> <p>シラバス作成については講義担当者が講義反省を踏まえ、配布する前年度に作成し、教務課が年度末までに集約する。</p> <p>公表については学生への配布とホームページ上での公開を行う</p> <p>公表時期 令和5年4月</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学生への配布(印刷物)、ホームページでの公開</p> <p><a href="https://www.pref.oita.jp/site/140">https://www.pref.oita.jp/site/140</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各科目の学修成績の評価は、講義については試験の成績、出席状況、学修態度等を、実験、実習を伴う科目については出席状況、レポート、学修態度及び技能程度等を考慮し前後期ともに行い、学年末成績は各学期の評価点の平均点とする。</p> <p>卒業論文についても各コースにて観点別に評価し、指導職員による成績会議を開催する。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

客観的な指標については「優、良、可、不可」の評定を下表の評価得点帯で行い、前・後期の成績通知表にて学生に通知する。尚、この指標についてはシラバスに掲載し、公表する。

評定	100点法
優	100～80
良	79～60
可	59～50
不可	49以下

成績の分布状況についても前・後期の成績通知表に明記し、学生に把握させる。

成績状況	欠席日数		日 / 日	
	平均点		点	
	成績順位		人 / 人	
成績分布	得点帯	人数	得点帯	人数
	91～100		61～70	
	81～90		51～60	
	71～80		0～50	
下位1/4に該当する指標の数値		点以下		
下位1/4に該当する人数		人		

客観的な指標の算出方法の公表方法

本校の講義計画(シラバス)冊子に記載の上、学生にはシラバス冊子を配布する。ホームページにシラバスを掲載。  
<https://www.pref.oita.jp/site/140/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【卒業認定方針の策定】教務規程にて策定済み

【卒業認定方針の公表】シラバスに単位認定・進級・卒業認定について記載するが方針は別途、ホームページに掲載する。

【卒業認定方針の実施】2月に校長以下、全指導職員による2年生の卒業判定会議を実施し、修得単位の認定と卒業認定を校長が行う。

卒業の認定に関する方針の公表方法

卒業認定方針はホームページに掲載。  
<https://www.pref.oita.jp/site/140/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大分県立農業大学校
設置者名	大分県

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	/
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		専門課程	総合農産科/総合畜産科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	93 単位	単位時間 115.5 /単位	単位時間 5/単位	単位時間 88/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
単位時間/単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		64 人	0 人	16 人	4 人	20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業方法：講義、演習、グループ学修、発表、現地視察、実習 授業内容：社会人に必要とされる一般教養、農産・畜産に共通する農業の知識・技術、各学科専門の知識・技術 年間計画：各科目の計画はシラバスを参照
成績評価の基準・方法
（概要）基準についてはその学修の成果を得点帯により「優・良・可・不可」で評価する。方法については講義、実習、卒業論文ともに、観点別に評価し、学生の学修状況並びに成果を多角的に評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）出席日数が学校の定める授業日数の80%以上であること。 学校の定める教育課程の履修科目を修得し、進級及び卒業に必要な単位が認定されていること。
学修支援等
（概要）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
令和4年度			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100.0%)	3人 ( 8.8%)	29人 ( 85.3%)	2人 ( 5.9%)
(主な就職、業界等) 農業法人、農業関連企業、農業団体、自営就農 等			
(就職指導内容) 三者面談（学生、保護者、進路担当）、 農業法人等との就職相談会、就職試験・面談指導等を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 大型特殊免許、けん引免許、日本農業技術検定、農薬指導士 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
令和4年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67人	4人	6.0%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合（自主退学）		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人、保護者と学業継続に向けた話し合い等を実施。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
農学部	5,650 円	118,800 円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
本校ホームページ <a href="https://www.pref.oita.jp/site/140/">https://www.pref.oita.jp/site/140/</a> から閲覧・ダウンロード可能。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>県農業の担い手育成のために求められる質の高い教育を提供するとともに、地域に根ざした開かれた大学校づくりを推進するため、毎年度重点目標を定め、その達成に必要な評価項目などを設定の上、運営状況等についての自己評価を行う。農大が実施した自己評価の結果を踏まえた評価 (外部評価) を、下記外部評価委員が実施し、結果について、学校運営に関する意見とともに農大へ報告していただく。農大校長は、委員会からの報告をもとに適宜必要な措置を講じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な評価項目：資格取得者数、進路決定数、就農者数等</li> <li>・評価委員定数：8名 (教育関係者、生産者、卒業生、農業団体、行政機関)</li> </ul>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
大分県高等学校教育研究会農業部会 会長	2年	教育関係者
大分県指導農業士会会長	2年	生産者
大分県農業法人協会会長	2年	生産者
地元女性農業者	2年	生産者
大分県立農業大学校同窓会副会長	2年	卒業生
大分県農業協同組合常務(営農担当)	2年	農業団体
豊後大野市 農業振興課長	2年	行政
大分県中部振興局農山漁村振興部長	2年	行政
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<a href="https://www.pref.oita.jp/site/140/">https://www.pref.oita.jp/site/140/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

本校ホームページ <https://www.pref.oita.jp/site/140/> から閲覧・ダウンロード可能。